

## 【校内体制の整備】

いじめの問題に対する取組事例

都道府県・指定都市名	北海道	学校名	北海道旭川工業高等学校 (全日制)
学校情報等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設置者の別 ( 国立 ・ 公立 ・ 私立 )</li> <li>・ 児童生徒数 ( 828人 )</li> <li>・ 学級数 ( 21学級 )</li> <li>・ 教職員数 ( 90人 )</li> </ul>		

取組の概要	<p>いじめの問題への対応において、いじめが生まれにくい環境をつくるため、生徒と教職員が信頼し協力して「チームで解決」する環境づくりと、警察と連携した取組を推進している。</p> <p>「相談体制の充実」として、個人面談の充実のほか、生徒が自分自身の安全・安心を脅かされている状況にあると感じた場合に電子メールにて相談できる「絆ネット」を開設し、生徒が相談できる方法を複数設定するなど、いじめ等の早期発見に努めている。電子メール「絆ネット」については、教職員が協力して個別に対応している。</p> <p>「警察との連携」として、創作物の作成や防犯啓発リーフレットの配布など、警察との日常的な連携を行うとともに、いじめ等の問題行動が発生した場合に、迅速に連携して対応することができる体制を構築している。</p> <p>その他、生徒が主体となった取組として、いじめ根絶に向けた全校集会での呼びかけのほか、携帯電話やSNSの使い方について考える機会の設定などを行っている。</p>
-------	---

効果・成果	<p>「絆ネット」の開設により、いじめに発展する前にいじめにつながる問題を発見することができ、生徒と教職員の協力により問題を解決することができた事案があり、「絆ネット」はいじめの早期発見の取組として効果があつた。</p> <p>いじめへの対処では、無料通話アプリによる脅迫があつた際に、警察との連携で仲裁・解決することができた事案があり、警察との連携を日頃から意識して取り組むことによる成果が表れている。</p> <p>また、様々な取組をとおして、生徒と教職員とのコミュニケーションが活性化し、生徒と教職員の距離が縮まり、生徒間で解決できない事案について教職員を含む大人に相談できる環境が構築できた。</p>
-------	--

取組として該当するものを選んでください(複数回答可)	
(ア)未然防止のための取組	(イ)早期発見・早期対応の在り方
(エ)生徒指導体制	(ウ)教育相談体制の充実
(オ)校内研修	(カ)PDCAサイクル
(キ)児童生徒主体の取組	(ク)ネットいじめ対策
(ケ)保護者・地域社会の取組強化	(コ)その他( )

# 「相談体制の充実及び警察との連携体制の構築」

## 《北海道旭川工業高等学校》

### 取組概要

校訓「信頼される人になれ」に基づき、いじめのない明るく、楽しい学校をつくるため、生徒と先生が信頼し合い、協力し合い『チームで解決』する環境づくりに取り組んでいる。また、学校と警察が連携した取組も行っている。

### 【 取 組 の 実 際 】

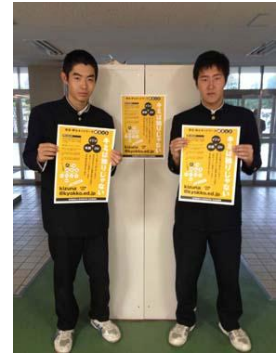
#### 1 生徒の活動

##### (1) 旭川東警察署との連携

- ① 工高祭における「絆ネット」の垂れ幕を警察と共同で製作し展示
- ② 工高祭と旭山動物園で、警察と生徒が警察作成の防犯啓発リーフレットを来場者へ配布

##### (2) 「いじめ防止」の活動

- ① 全校集会での呼びかけ
- ② SNS、LINE、スマートフォン等の使い方について考える
- ③ 「絆ネット」への積極的参加、協力



#### 2 学校の取組

##### (1) 「絆ネット」 [kyokko@kyokko.ed.jp](mailto:kyokko@kyokko.ed.jp) の開設、運用

##### (2) 教育講演会

- ① 命の授業 元中学校教諭 (H24)
- ② ココロの授業 専門学校副校長 (H25)

##### (3) 全校集会等での呼びかけ

- ① 「自分の命は自分で守る」
- ② 「自分たちで解決できないときには、  
近くの先生(大人)に相談を！」

##### (4) 旭川東警察署との連携

- ① 「絆ネット」活動における問題発生時の学校と警察の連携体制の構築(刑事・生活安全課)
- ② 警察と教職員が共同で自転車の下校指導を実施(交通第一課)



### ○成果

- Human Communication が活性化され、生徒と先生の距離が一層近づいた。
- 「絆ネット」活動により、いじめに発展する前に生徒と先生との協力で解決できた。また、LINEによる脅迫は、旭川東警察署との連携で仲裁、解決することができた。
- 生徒間で解決できないことは先生(大人)に相談する環境ができつつある。

### ●課題

- 「絆ネット」に、生徒がさらにかかわることができる取組に発展させる必要がある。
- 生徒の意識向上と家庭、地域を巻き込んだ活動に発展させる必要がある。

## いじめの問題に対する取組事例

都道府県・指定都市名	岩手県	学校名	大船渡市立大船渡中学校
学校情報等	・設置者の別 ( 国立 ・ <u>公立</u> ・ 私立 ) ・児童生徒数 ( 251人 ) ・学級数 ( 11学級 ) ・教職員数 ( 36人 )		

取組の概要	<p><b>【 毎月1回の学校生活自己評価アンケートと教育相談の実施 】</b></p> <p>(1) 毎月1回、帰りの会を5分延長して全校生徒に「学校生活自己評価アンケート」を実施している。学校生活に対する満足度、問題行動の有無、いじめの有無、悩みの有無等についてあてはまるものに○をつけて回答する。</p> <p>悩みがある場合、誰に相談したいかを、[①SC・相談員, ②学級担任, ③学年所属の教職員, ④部活動の顧問, ⑤相談しなくてもよい] の5つから選択する。(複数回答可)</p> <p>(2) アンケート活用の流れ</p> <p>①アンケート用紙は全て回収し、担当(主幹教諭)に提出される。</p> <p>②担当がチェック後、困り感を示した生徒について学年集計用紙にまとめる。</p> <p>③学年集計用紙を学年主任に渡し内容を確認した後、学級担任または、生徒が希望した教職員が対応して教育相談に応じる。</p> <p>④事案に応じた対応の方針、指導体制を学年で決定し、学年集計用紙に具体的に記入し、生徒指導主事、主幹教諭、副校長、校長へ回覧し速やかに情報を共有する。</p> <p>⑤その後、記入用紙は担当が保管。心の教室相談員の協力を得て、情報をパソコンに入力している。</p> <p>(3) アンケートの実施後、必ず教育相談につなげるようにしている。これにより、いじめの予兆となる生徒同士の間関係のもつれを教師が速やかに発見することができている。</p>
	<p>東日本大震災津波における被災校ではあるが、幸いにも生徒の犠牲者はゼロではあった。しかし、心に深く刻まれる悲しい出来事を多くの生徒たちが体験している。震災から3年が経過する平成25年度以降、生活環境の変化から生徒の問題行動が増加すると予想されていたが、ここ2年間、一人も不登校生徒が出ていない。また、平成25年度のいじめの発生についても極めて少ない状況であった。</p> <p>被災による家庭環境の変化など、生徒個々には様々な悩みを抱えているが、学校が生徒たちにとって穏やかな日常を感じ、心が安定できる大切な居場所となっていると思われる。</p> <p>本校は、生徒たちが安心して生活できる学校づくりの手だてとして、平成23年度から「学校生活自己評価アンケート」を実施している。このアンケートは学校生活を自己評価する項目を含んでいるため、生徒が自分自身を取り巻く人間関係や、自分の心の状態をメタ認知的に理解していくことができる。</p> <p>また、日頃から、職員会議、学年主任会議、ケース会議、心の教室相談員からの情報交換会等、教職員間で生徒についての情報交換を頻繁に行い、悩みやトラブルを抱えた生徒が、いじめや問題行動に向かわないように、予防的な指導を心がけている。本アンケートの実施により、いじめ発生前によりきめ細やかな指導を行ったり、道徳教育の中で情報モラル指導を重点にしたりするなど、教育相談と生徒指導を総合的に機能させ、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応につなげている。</p>

※ 取組として該当するものに○をつけてください(複数回答可)。

- (ア) 未然防止のための取組 (イ) 早期発見・早期対応の在り方 (ウ) 教育相談体制の充実  
 (エ) 生徒指導体制 (オ) 校内研修 (カ) PDCA サイクル (キ) 児童生徒主体の取組  
 (ク) ネットいじめ対策 (ケ) 保護者・地域社会の取組強化 (コ) その他 ( )

(参考資料)

## 「学校生活自己評価アンケート」の取組の具体について

1 毎月第3水曜日の帰りの会を5分延長し、各クラスでアンケートを実施する。生徒は各自、下記7項目のアンケートに答える。※【図1】参照

- 項目1～4：学校生活について（あいさつ、清掃取組、合唱、聞き方）は4段階評価
  - 項目5：いじめについて（いじめられていないか、いじめと思われる行為を見なかったか）
  - 項目6：問題行動について（校内、下校時の飲食はなかったか、問題行動を見なかったか）
  - 項目7：学習面、生活面での悩みはないか
- 悩みが「ある」と答えた人は、誰に相談したいかを選び、その人物に○を付ける。

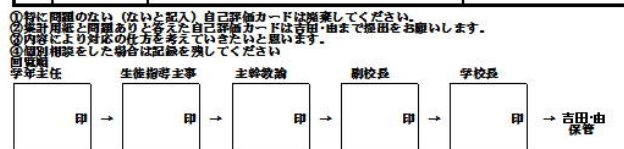
実施日	月	日	年	組	番	氏名		
項目			評価					
最近2週間の様子について教えてください。数字を○で囲んでください。 4・・・十分満足できる 3・・・だいたい満足できる 2・・・少し良くなかった 1・・・よくなかった								
1.	学校や地域であいさつは大きな声で出来ましたか。				4	3	2	1
2.	まごころタイム（清掃）は真剣に取り組みましたか。				4	3	2	1
3.	学歌や合唱会で大きな声で歌う事が出来ましたか。				4	3	2	1
4.	話を聞く時は相手の顔を見て聞きましたか。				4	3	2	1
5	①いじめられていませんか。		いない		いる			
	②いじめと思われる行為を見なかったですか。		見ていない		見た			
6	①校内・下校時に飲食しなかったですか。		していない		した			
	②問題となる行動を見ていませんか。		見ていない		見た			
7.	学習面・生活面での悩みはないですか。				ない		ある	
【悩みが「ある」と答えた人は、誰に相談したいですか、数字を○で囲んで下さい】								
1		2		3		4		5
SC、相談員		担任		学年の先生		部活顧問		相談しなくても良い

【図1】学校生活自己評価アンケート（生徒用）

2 前述のとおり、担当がアンケートの記載内容を確認して、集計用紙に取りまとめる。※【図2】参照

教職員が、生徒のトラブルや悩みを速やかに把握し、組織体制で指導・支援を行うために、集計用紙を介して、情報が管理職まで確実に伝わるように配慮している。

学校生活自己評価学年集計用紙						
実施日	月	日	年	組	氏名	
項目			1組	2組	3組	合計
1	①いじめを受けた。いじめた。		( )件	( )件	( )件	( )件
	②いじめとと思われる行為を目撃した。		( )件	( )件	( )件	( )件
2	①校内・下校時に飲食しなかったですか。		( )件	( )件	( )件	( )件
	②問題となる行動を見ていませんか。		( )件	( )件	( )件	( )件
3.	学習面・生活面での悩みはないですか。		( )件	( )件	( )件	( )件
具体的な問題内容・指導内容						
名前	内容				対応の仕方	
1組						
2組						
3組						



【図2】アンケート集計用紙（教職員用）

3 悩みが「ある」に○をしたが、「相談しなくてもよい」と答えた生徒にも、継続的に目を向けている。集計用紙に付箋をつけ、「相談しなくてもよい」と答えた生徒の名前を記載し回覧している。

学級担任は、生徒の気持ちを尊重しながら、日常的な会話の中でさりげなく生徒に話しかけたり、生活記録ノートにコメントを書いたりして、生徒がコミュニケーションをとりやすい雰囲気をつくり、個々の悩みの解消に努めている。

4 本校には、「心の教室相談員」が配置されている。相談員が、毎回、全校生徒分のアンケート結果を、パソコンに入力し、データを蓄積している。また、学校生活における自己評価が低い生徒や、いじめ被害等の反応を示した生徒のアンケート用紙に付箋等をつけて知らせるようにしているため、見落としがない。

相談員は、休み時間、給食時間、掃除時間など、日常的に生徒と積極的に触れ合っている。その中で見えてくる生徒の様子も学年の教師団に適時伝えられるため、問題行動の未然防止に役立っている。

いじめの問題に対する取組事例

都道府県・指定都市名	山形県	学校名	天童市立津山小学校
学校情報等	・設置者の別 ( 国立 ・ <b>公立</b> ・ 私立 ) ・児童生徒数 ( 133 人 ) ・学級数 ( 8 学級 ) *ほかに言語通級教室を設置 ・教職員数 ( 23 人 )		

取組の概要	<p><b>1 いじめ未然防止・早期発見のためのアンケート実施と状況把握・対応</b>          いじめの未然防止と早期発見のために、平成22年度から毎月1回(下旬の時期)、2年生以上の児童に定例のアンケートを実施している。ただし、6月と11月については、全学年児童と保護者への県下一斉のアンケート……1回目;26年2月 2回目;26年6月 3回目;26年11月 児童・保護者から報告された事案については、第一次指導として聞き取り及び人間関係の調整として担任が対応する。そして、計画的に各学級の聞き取り等の報告を受け、担任の対応やその他気になる事柄に対して管理職による指導を行う。その後の対応や様子についても必ず報告するようにしている。また、職員会議開催時の「子どもを語る会」で、気になる児童や状況等について全職員の共通理解を図る。</p> <p><b>2 全校児童の「人権意識」の涵養</b>          いじめ防止の基盤は「人権意識」であると考え。担任による各学年での道徳指導や学級活動での生徒指導だけでなく、人権週間の時期や必要な時期に、全校児童の人権意識涵養のため、校長が朝会や放送で人権についての講話を行っている。</p> <p><b>3 「思いやり意識」を醸成する児童会の取組</b>          「仲間」「思いやり」等の意識を醸成する児童会目標を設定し、達成のための取組を進める。児童会総会や全校朝会(週1回)の場、放送、児童会だより等で、重点的な取組について話し合ったり、担当児童がわかりやすく説明したりしながら、みんなで進めようとする意識を高め取り組んでいる。全校朝会で校長や担当職員が十数回にわたり、子どもたちの達成状況を賞賛し、来校者・地域からの賞賛を伝えたりすることにより、達成感を味わい、よりいっそう意欲がもてるようにしている。</p> <p><b>4 保護者や地域への広報・啓発</b>          保護者や地域の理解・協力を得るには、「学校の教育活動を知ってもらうことがスタートである」と考える。そのために、以下のように、学区内全戸配付の学校だよりや保護者会等での広報・説明・啓発を大切にする。  <input type="checkbox"/>児童会活動における子どもたちの取組について、学校だよりに掲載し広報する。  <input type="checkbox"/>校外メンバーを含めた「いじめ問題対策委員会」を設置し、「いじめ防止の基本方針と対策」の内容や現状について説明し、協力を得る。  <input type="checkbox"/>全保護者に基本方針のダイジェスト版を配付し、取組(年間計画)について説明する。  <input type="checkbox"/>保護者へのアンケートお願い状(説明書)をとおして、いじめ防止対策の周知と啓蒙を図る。</p>
	<p><b>効果・成果</b></p> <p>○ 毎月1回、児童へのアンケートを実施することにより、子どもたちの思いや悩み、困り感、子どもたちの関係等が把握できている。担任や担外職員、管理職が記入された用紙に目を通し、聞き取り等をとおして児童個々の状況や学級内の状況を把握し相談・指導を進めることにより、いじめの未然防止・早期発見・対応につながっている。……*昨年度からのいじめの認知は1件で、早期解決。学校の対応に、保護者から感謝の意を受けた。</p> <p>○ 児童会における取組では、児童会目標に込められた子どもたちの思い・願いを具現化するために、「元気なあいさつをする」「くん・さんをつける」「ろうかを走らない」などの重点的な取組を進めている。時には、全校朝会で自分たちの生活状況を劇化して知らせ、より具体的に理解できるようにもしている。こうした児童主体の取組活動により、児童会目標の意識化とともに落ち着いた生活や思いやりのある生活の実現に迫ることができている。まだ課題は多々あるが、校内外の大人からプラス評価され賞賛されることにより、相乗効果的に成果となって表れているように思う。</p> <p>○ いじめ防止についての学校側の考えや取組が保護者等に伝わることにより、保護者も学校と一致協力して「未然防止に努める」「解決に向かう」という意識になっている。児童の人間関係の把握や聞き取りの重視など、教職員一人一人がいじめ対応について危機意識をもって臨むようになってきている。学校の教育活動をより詳しく広報することにより、学校の努力やがんばりが地域に伝わり、学校への関心も高まっているように感じている。</p>

※ 取組として該当するものに○をつけてください(複数回答可)。

<input checked="" type="checkbox"/> (ア) 未然防止のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> (イ) 早期発見・早期対応の在り方	<input checked="" type="checkbox"/> (ウ) 教育相談体制の充実
<input type="checkbox"/> (エ) 生徒指導体制	<input type="checkbox"/> (オ) 校内研修	<input type="checkbox"/> (カ) PDCA サイクル
<input type="checkbox"/> (ク) ネットいじめ対策	<input type="checkbox"/> (ケ) 保護者・地域社会の取組強化	<input checked="" type="checkbox"/> (キ) 児童生徒主体の取組
<input type="checkbox"/> (コ) その他 ( )		

1 いじめ未然防止・早期発見のためのアンケート  
 [1]は、平成22年度から本校で実施してきている定例アンケートである。“答えやすいもの”という観点から、内容としては「自分自身のこと」「周りの人のこと」の簡潔なものである。

2 児童会の取組  
 [2-1]は、今年度の児童会目標「一人一人のあいさつがひびく けじめのついた 仲のよい学校」である。  
 [2-2]は、児童会目標を受けての「各学年の取組の重点」である。



[2-1] 平成26年度児童会目標

3 学校だより「児童会目標への取り組み」  
 [3] (別紙)は、児童会目標への取組についてその一部を紹介した学校だより『津山小だより 平成26年度7月号』の1面である。  
 その内容は、いじめ防止にもつながる学校生活の基本的な事項について、子どもたち自身が取り組んだものを紹介したものである。



[2-2] 各学年の取組の重点

4 学校だより 「全校生の輪」そして「お願い」  
 [4] (別紙)は、卒業式を前に、卒業式で歌う歌を全校生が一丸となって練習していることを伝える学校だより『津山小だより 平成25年度2月号』の1面である。全校朝会に集まってくる子どもたちの様子や歌に込めた思い・願いなどを紹介するとともに、いじめ防止についての学校としての基本的な姿勢を伝えた。

5 人権週間における「全校放送」(全文)  
 [5] (別紙)は、12月の「人権週間」に行った、人権意識を涵養するための校長による全校放送全文である。  
 この全文は、人権擁護委員連合会からいただいた児童指導用文章資料を、子どもたちに合うように改作したものである。

アンケート  
 ( )月( )日 ( )年( )

津山小学校では、だれにとっても楽しく勉強できる学校をめざしています。そこで、ときどき、このようなアンケートを行い、楽しく勉強できているか、みなさんの気持ちを聞いていきたいと思います。だれかに教えたりしないので、正直に書いてください。

1 あなたは、今、いじめられたり、いじわるされたりして、こまっていますか。あったら書いてください。  
 ( )こまっていることがある ( )こまっていない

どんなことですか。

2 あなたのまわりで、今、いじめられたり、いじわるされたりして、こまっている人はいませんか。気になっていることがあったら、書いてください。

[1] 定例アンケート



[2-2] 各学年の取組の重点

6 全校朝会「人権についての講話」(全文)  
 [6] (別紙)は、全校朝会(平成26年2月25日)での校長講話の全文である。  
 「人権」という視点から、人権意識の涵養をとおして、いじめ防止につなげることを意図したものである。朝会后、各学級でも人権にかかわる学習を行った。

# 津山小だより

平成26年度

7月号

天童市立  
津山小学校

## 「一人一人のあいさつがひびく けじめのついた 仲のよい学校」 ……児童会目標への取り組みをふり返る

1学期終了まで残すところおよそ2週間となった7月8日(火)の全校朝会。これまで取り組んできた今年度の児童会目標に対して、児童会運営委員会が中心となってふり返りを行いました。

### 【運営委員のことは】

「これまで、あいさつやろうか歩行、くつばこなどについて取り組んできた児童会目標について、ふり返りをします。

児童会目標は、『一人一人のあいさつがひびく けじめのついた 仲のよい学校』です。特に、大きな声であいさつすること

仲のよい学校のために、やさしい呼び方をすること が大切だと考えます。

これから、この2つについて、みんなでこのようにがんばっていききたいというのを見てもらいます。」

ここから、運営委員会の子どもたちの“劇”が始まりました。

### 【運営委員による劇】

劇 □ 朝の登校班。 班長さん；「みんな、ちゃんとあいさつしてね。」

みんな；「おはようございます。」

地域の人；「おはようございます。みなさんのあいさつで、私も元気が出ます。」

<運営委員> みなさん、このようにしっかりあいさつできるようにしましょう。

一人一人が意識をもってあいさつできるように、『あいさつカード』を作りました。

「 ;きちんとできた, ;まあまあできた, ;ダメだった」というように、毎日、登校班で、学校に着いたら記録していきます。

劇 □ 廊下で会った二人。 「よう、 (あだ名で) ……ところで、名前何だっけ？

毎日、あだ名でばかり呼んでいたら、本当の名前がわからなくなってしまった。」

<運営委員> みなさん、本名で呼ぶと、気持ちがいいですね。「さん」「くん」をつけて本名で呼ぶと、その人を大事にしていることになります。そして、本当に仲がよいことなんです。

子どもたちの発表から、「これらのことをがんばって、もっともっと良くしていきたい！」という気持ち = 意気込みが、しっかりと伝わってきました。

8月20日(水)までの27日間の夏休みが始まっています。子どもたちにとって、「安全で、有意義な日々」になりますよう、子どもたちを見守りいただきたく存じます。よろしくお願ひ申し上げます。

<校長 小松 和彦>



朝の登校班の様子についての寸劇



# 津山小だより

平成25年度  
2月号  
天童市立  
津山小学校

## 『握手』と『歌声』に見える全校生の輪 ……………2月の全校朝会での子どもたち

♪ BELIEVE (ビリーブ)  
<杉本竜一>

たとえば君が 傷ついて  
くじけそうに なった時は  
かならず僕が そばにいて  
ささえてあげるよ その肩を  
世界中の 希望のせて  
この地球は まわってる  
いま未来の 扉を開けるとき  
悲しみや 苦しみが  
いつの日か 喜びに変わるだろう  
I believe in future  
信じてる

もしも誰かが 君のそばで  
泣きだしそうに なった時は  
だまって 腕をとりながら  
いっしょに歩いて くれるよね  
世界中の やさしさで  
この地球を つつみたい  
いま素直な 気持ちになれるなら  
憧れや 愛しさが  
大空に はじけてひかるだろう  
I believe in future  
信じてる

“ …………… アーイ ビリーブ イン フューチャー  
信じてる ”

口を大きく開いて歌う子どもたち。音楽室いっぱいに『BELIEVE (ビリーブ)』の歌が響き渡りました。

2月18日(火)の全校朝会。今日は、卒業式で全校生が歌う歌を練習する時間です。場所は、グランドピアノがある音楽室。8時25分開始に向けて、学年ごとに続々と集まってきました。

今日も、出迎えは児童会運営委員会の皆さんです。入り口ろうかの所で全校生を待ち、一人一人と“握手”しての出迎えです。……………私も握手で迎えてもらいます。……………気持ちがとてもあったかくなり、いつもうれしくなってきました。

2月になり、各学級では、卒業式で歌う歌の練習を進めています。そして、火曜日の全校朝会の時間に、全校生で練習をし、歌にさらに磨きをかけます。今回は、『校歌』と『君が代』でした。今回は、卒業式後半の「お別れのことば」で歌う一曲『BELIEVE (ビリーブ)』です。

“ たとえば君が 傷ついて  
くじけそうに なった時は  
かならず 僕が そばにいて  
ささえてあげるよ その肩を …………… ”

ピアノ伴奏に合わせて、子どもたちのすてきな歌声(合唱)が始まりました。

次に、低音部を歌う4・5年生だけが歌ってみます。……………市小学校音楽会への出演をとおして磨き上げた歌声です。……………なんときれいな歌声！透きとおるような、やわらかな歌声で音楽室がいっぱいになりました。聴いている子どもたちの顔にも、「すごい！」「上手！」という思いが表れていました。

この声を聴いて、再び全員で合唱です。……………その歌声は変わっていました。発声に磨きがかかり、先程とは違った歌声になっていました。

“人の優しさ”を歌い上げた子どもたちのこの歌が、私は大好きです。今年の卒業式でも、会場いっぱいに、子どもたちの心が溢れることと思います。

<校長 小松 和彦>

### 【お願い】

津山小の子どもたちのがんばりや親切、優しさが、いつもうれしくなります。

しかし、「もしかして、子どもたちの中に“いじめ”があり、苦痛を感じている子がいることを、私たちが気づかずにいることもあるのではないかと……」とも思います。

「いじめは絶対に許されない」「いじめは卑怯な行為である」「いじめはどの子にも、どの学校にも起こりうる」という認識をもって実状の把握に努める、そして、協力をいただきながら早期に解決し、安心して楽しく過ごせるようにしなければならぬと、強く思っています。

気になることやご心配なことなどがありましたら、ぜひ学校職員までお知らせいただきたいと思います。

皆さん、12月4日から10日までは、毎年、『人権週間』です。

人権週間は、昭和23年、今から64年前の12月10日に、世界中の国の代表が集まって話し合いをする「国際連合」の総会で、『世界人権宣言』が決められたその日を記念して定められました。

「人権」とは、「人として人間らしく生きていく権利で、だれもが大切にされる」ということです。

先月の11月、6年生の皆さんは、人権についてのお話をお聞きし花植えも行いました。また、2年生の皆さんは、紙芝居で「白い魚とサメの子」というお話をお聞きしました。

人権は当然、皆さんのような子どもにもあります。子どもの人権を守るために、『子どもの権利条約』という、国と国の約束があります。これは、皆さんのような子どもが、みんな幸せに暮らすことができるにはどうしたらよいかを、大人が真剣に考えてつくった約束です。

しかし、人権は、大人に守ってもらえばかりではありません。皆さんにもできることがあるのです。

それは、皆さんどうしが仲良くすることです。皆さんは、だれとでも仲良くしたり仲良くしようとしていたりしていると思います。みんながもっと仲良くするにはどうしたらよいかを考えることが大切なのです。

みんながもっと仲良くするためにどうするか。まず、相手の人が「いやだなあ」と思うことをしたり、言ったりすることはやめましょう。自分が相手からされたり、言われたりしていやだと思ったことは、相手の人にとってのもいやなことだからです。

どんな人にも「いいところ」と「そうでないところ」があります。その悪いところだけを見て、悪口を言ったり、バカにしたり、いじめたりするのはよくないことです。

もう一つは、相手が何を考え、どうしたいと思っているか、よく聞いてあげることです。

「ぼくはサッカーをやるけど、あの人にはやらせない。」などと、自分の考えだけを押し通すのはいけないことです。やるとか、やらないとかを決めるのは、その人自身なのでから。

この二つのことを守ったら、みんなはもっと仲良くできるはずですよ。このことは、学校の中でも、大人の社会でも同じです。そして、世界中のみんなが仲良くなって、いつもにこにこしていられるようになったらいいなあと思います。

ほかの人をいじめたりしてはいませんか。自分の意見ばかり通してはいませんか。ほかの人がいやがることをしていませんか。人をけったり、押ししたりしていませんか。「やめてよ!」と言われても、やめない人はいませんか。そういうことは、人としてしてはいけないことです。

お互いに相手の人の立場を考えて、親切にする、やさしくする、ていねいな言葉づかいをするなど、思いやりの気持ちをもって、一人一人、気をつけていってほしいと思います。

人権についてのお話を終わります。

「人権」という言葉があります。難しい言葉です。6年生は、社会科の勉強などで、習ったと思います。

「人権」……わかりやすく言うと、「人として大切にされること」です。

私たちは皆、人間、人です。ということは、だれにでもこの「人権」があるのです。つまり、だれもが人として大切にされなければなりません。

「大切にされる」ということは、どういうことかということ、みんなが仲良くする、仲良くなることです。

それでは逆に、「人として大切にされない」ということはどういうことか。

それは、その人が嫌がることを言ったり、嫌がることをしたり、悪口を言ったり、バカにしたり、その人が気にして言われたくないことをわざと言ったり、困っていることを笑ったり、一緒に遊ぼうと言っても混ぜてあげなかったり……もっとひどいことになると、その人を押したり、蹴ったり、何人かで一人の人に嫌なことをしたり、……もし何人かで一人の人に嫌なことをしている人たちは、卑怯です。弱虫です。

……今、私が言ったことは、本当にいやなことばかりですね。こういうことは、人として大切にしていないことです。

この皆さんの中で、いやなことをしている人はいませんか？

この皆さんの中で、いやなことをされて困っている人はいませんか？

嫌なことをされて、じっと我慢している人は、嫌なことをする人よりも強い人です。でも、黙ってないで、相談してください。

親切なことができる人、人に優しくできる人、困っている人がいたら声をかけてあげられる人、いけないことだと思ったら「やめよう」と言える人、人と仲良くしてしっかり生活しようとする人、ていねいな言葉遣いをしたりきまりを守ったりできる人……そういう人は、とても強い人です。

ここにいる人みんな、そういう津山小の人になってほしいと思います。

もう一度言いますね。

親切なことができる人、人に優しくできる人、困っている人がいたら声をかけてあげられる人、いけないことだと思ったら「やめよう」と言える人、人と仲良くしてしっかり生活しようとする人、ていねいな言葉遣いをしたりきまりを守ったりできる人……そういう人になってほしいと思います。

## いじめの問題に対する取組事例

都道府県・指定都市名	埼玉県	学校名	伊奈町立小針北小学校
学校情報等	・設置者の別 ( 国立 ・ <b>公立</b> ・ 私立 ) ・児童生徒数 ( 1337人 ) ・学級数 ( 39 学級 ) ・教職員数 ( 70 人 )		

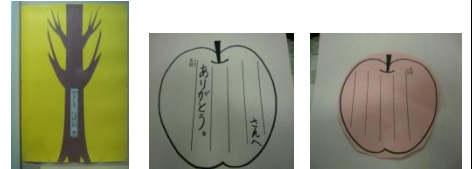
取組の概要	<p><b>1 全職員の意識改革・「いじめ問題」に対する取組</b></p> <p>(1) 4月初めの職員会議で「伊奈町立小針北小学校いじめ防止基本方針」について読み合わせ、全教職員の共通理解を図る時間を確保し、職員のいじめ問題に対する意識を高めた。</p> <p>(2) 学校だけでなく、地域も含めた教育活動全体を意識し、来賓玄関には常に持ち帰り用の「伊奈町立小針北小学校いじめ防止基本方針」を置き、広く学校の取組について理解を促している。また、ホームページでも公表している。</p> <p>(3) いじめを早期発見するための一つとして、欠席しがちな児童についてデータベース化し、職員全体で把握できるようにしている。それを基に、早期対応を図る体制を整え、対応している。</p> <p>(4) 年間をとおしての職員研修「いじめ事例研修」「教育相談研修」「人権教育研修」などの校内研修の充実を図ることで、いじめの早期発見、早期対応、再発防止に努める。</p> <p><b>2 各学級担任の取組</b></p> <p>(1) 学期ごとのいじめアンケート実施後に、個別面談を関係児童に実施し、正確な実態把握を行っている。</p> <p>(2) 普段の感謝の気持ちをお互いに視覚化する「やさしさいっぱいの木」に全学級で取り組み、児童一人一人の人権意識を高めてきた。</p> <p>(3) 異学年集団を編制し、ロングの昼休みに集団で遊ぶ時間を設けることで、学年という枠をこえて互いの顔や名前、性格を知り、隠れたいじめの発見につながるようにしている。</p> <p><b>3 児童主体、児童会の取組</b></p> <p>(1) 4月に全児童から「理想の学校のテーマ」を募集し、児童の思い(「思いやり」「友情」)を形にする「マスコットづくり」を通して、自分たちの学校をよりよくしようとする気持ちを育てるようにした。</p> <p>(2) 「チクチク言葉」と「ぼかぼか言葉」を児童会が各クラスに募集し、まとめた。これをお互いが気持ちよく生活できるようにと「北っ子チクチク・キラキラ言葉」として全教室に掲示し、普段使っている言葉を意識していじめ防止につなげている。</p> <p>(3) 一人一人のあいさつで学校を元気に明るくしようという思いから「あいさつ運動」を行っている。一部の児童だけでなく、クラスごと、地域ごとに実施するなど全児童に取組を広げた。</p> <p>(4) 「学校全体を明るくし、いじめを根底からなくしていこう」、「笑顔あふれる学校にしよう」という思いから、児童会の役員が、休み時間の様子を写真に撮り、その写真を掲示した。</p>
	<p>効果・成果</p> <p>上記の取組により、教職員全体の意識の向上が図られた。「小さいいじめも見逃さない」という姿勢が身に付き、その思いが児童にも伝わり、アンケート調査後の対応も含めて、本年度1学期には、いじめ「0」になった。</p> <p>また、児童会を含めた「いじめ反対キャンペーン」は、全児童、保護者にも徐々に伝わってきていて、授業の中での学び合いの場面や休み時間でも児童同士の温かい言葉かけが数多く見られるようになった。結果として、自分たちで自分の学校を良くしていこうという意識が高まってきている。</p>

取組として該当するものに をつけてください(複数回答可)

- (ア) 未然防止のための取組 (イ) 早期発見・早期対応の在り方 (ウ) 教育相談体制の充実  
 (エ) 生徒指導体制 (オ) 校内研修 (カ) PDCA サイクル (キ) 児童生徒主体の取組  
 (ク) ネットいじめ対策 (ケ) 保護者・地域社会の取組強化 (コ) その他 ( )

### 1 全職員の意識改革・「いじめ問題」に対する取組

- (3) では、いじめ早期発見の基準として年間で欠席日数が8日を超えた児童、もしくは連続して5日以上欠席した児童のデータを職員共有フォルダに記録し、職員全員がデータを共有することでいじめの早期発見・早期対応の資料にしている。記録された児童について、より意識して児童の様子や家庭の状況を把握するように努めている。
- (4) では、教師の実践力をより高めるために、校内研修に具体的な事例を取り上げ実施している。特に「いじめ事例研修」では、役割演技なども取り入れ、過去の事例に真剣に取り組むことでどんな状況に陥っても冷静に対応できる教師を育成している。



### 2 各学級担任の取組

- (2) では、児童が、毎日の生活の中でうれしく思った友達の行為を、感謝の気持ちとしてリンゴの実の形の用紙に書き表す。学年で1つの木の掲示物を作り、そこにこの実を貼り、全校で感謝の気持ちを実らせるように取り組んでいる。

- (3) では、学年の枠を超えた異学年集団を編制し、月に1回ロングの昼休みには自分たちで話し合い、自分たちでルールを考えた遊びを行っている。こうして互いに顔をよく知り、性格なども知ることで理解し合い、児童同士が助け合って協力する姿勢を身に付けている。この時間がきっかけになり、高学年の児童に困ったことを相談する低学年の児童も増えている。隠れたいじめを発見することも多くなってきている。



### 3 児童主体、児童会の取組

- (1) 児童会が、4月の児童集会で全校児童に「どんな学校にしたい?」と呼びかけ、自分たちの学校のテーマを募集し、そのテーマに合ったマスコットを作った。これは、学校を自分たちの手で良くしていこうという取組で、以前には、「思いやり」と「友情」のマスコットを作成した。全児童がそのテーマを実践するために普段の生活からテーマを心がけて過ごしている。
- (2) 児童会からの「いじめ反対キャンペーン」の一環として、学校生活の中で嫌な気持ちになる言葉「チクチク言葉」と、心が温まる「キラキラ言葉」を、まずは学級で集めた。それを全クラスが児童会に提出し、児童会が集約し、また各クラスに戻す取組である。それによって学校全体で互いの使っている言葉をもっと大切にし、友達を傷つけずに、よい関係をつくるきっかけとなっている。
- (3) 例年、児童会と教師が主体になって行っていた「あいさつ運動」を、全校児童で取り組み、元気なあいさつで気持ちのよい学校にしようという「いじめ反対キャンペーン」の取組である。学年で分担をして、曜日ごとに決められたクラスであいさつ運動を行った。児童会や教師に任せていた児童も、自分たちでやることであいさつの大切さや人と人との関わりを意識するようになってきている。
- (4) 「いじめ反対キャンペーン」の取組として、児童みんなの「自然な笑顔」を写真に撮って、廊下や階段などのスペースに掲示する取組である。主に休み時間の様子を撮ることで、児童の本当の笑顔を引き出すことができ、学校全体を明るくする掲示物になった。また、児童会の児童がカメラをもって撮ったことにより、より自然な笑顔がでるようになり、学校全体が明るくなっていった。



いじめの問題に対する取組事例

都道府県・指定都市名	東京都	学校名	東久留米市立第三小学校
学校情報等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設置者の別 (公立)</li> <li>・児童生徒数 (529人)</li> <li>・学級数 (20学級 内、特別支援学級4学級)</li> <li>・教職員数 (29人)</li> </ul>		

取組の概要	<p>[いじめ対策の基本方針]</p> <p>スローガン『守ろう！子供の未来！！』を掲げ、〔個への支援と集団づくり〕を基調として、未然防止・早期発見に取り組む。とりわけ、特別支援の視点から、一人一人の児童理解に基づいた集団づくりに重点を置き、個の内面と集団の状態や学力について客観的に把握する。その上で、全ての教職員・関係者が共通理解し、共通の認識の下、組織全体で共通実践することを肝とする。</p> <p>[いじめ対策の柱]</p> <p>ア 学校組織力 学校いじめ防止基本方針の策定、学校いじめ対策委員会及びいじめに関する連絡協議会の設置・実施、いじめに関する教員研修の充実、外部の専門家との連携強化</p> <p>イ 児童の内面 楽しい学校生活を送るためのアンケート「Q-U」、スクールカウンセラーによる全員面接(4～6年生)、校長室での会食、心と体の授業(5～6年生)の実施</p> <p>ウ 児童の学力 各学力調査の他、東京都教育委員会「東京ベーシック・ドリル診断シート」により一人一人の学力を把握し、放課後(毎週)の個別指導「三小寺小屋」等で学力を保障</p> <p>エ 人権意識 人権課題について学年・学級で継続的に取り組み、児童による人権集会(年2回)を開催し「人権標語」「人権作文」「三小しぐさ」などを児童自らが発表</p> <p>オ 地域連携 保護者・地域を含めて大人全体で子供を見守る環境づくりのために「地区班」を組織、地区班遊び(毎月)や地区班による防災訓練(年2回)を実施</p> <p>カ 校長の責務 全教職員から全児童の状況を把握し、指導状況を掌握するなど、直接の責任を負う</p>
	<p>[いじめ・不登校]</p> <p>平成26年度1学期末現在、いじめ、不登校ともに0件</p> <p>[個の支援と集団づくり]</p> <p>ア 学校組織力 外部の専門家の協力(指導・助言)を得ることにより、全ての教職員が共通の認識の下、チームとして組織的に児童の指導にあたるようになってきた。</p> <p>イ 児童の内面 一人一人の児童、学級の状態を「共通のものさし」で客観的に把握し、組織全体で共通理解できるようになった。児童が自分の気持ちを表現することの意識が楽になってきた。</p> <p>ウ 児童の学力 低学力を要因とする自己肯定感の低さが目立っていた児童らが、「やればできる・楽しい」という意識が高まり、嬉々として放課後の補習に参加し、学力を定着させている。</p> <p>エ 人権意識 低学年から段階的に学びながら、児童自らが「人権って何だろう」と、身近な人権を意識するようになり、自他を大切にする気持ちが育ってきている。</p> <p>オ 地域連携 学校、家庭、地域、それぞれの居場所で、一人一人の児童がかけがえのない存在として大切にされているという意識が、児童の有用感、自尊心を高めてきている。</p>
効果・成果	

※ 取組として該当するものに○をつけてください(複数回答可)。			
(ア) 未然防止のための取組	(イ) 早期発見・早期対応の在り方	(ウ) 教育相談体制の充実	
(エ) 生徒指導体制	(オ) 校内研修	(カ) PDCA サイクル	(キ) 児童生徒主体の取組
(ク) ネットいじめ対策	(ケ) 保護者・地域社会の取組強化	(コ) その他( )	

### いじめの問題に対する取組内容

(東京都) 東久留米市立第三小学校

# 「守ろう！子供の未来！！～ 個への支援と集団づくり～」

子供の心に寄り添う

〈 昨年度から継続 〉



SCと心の授業 平成25年 6月～



SCと全員面接 平成25年 7月～



SCと会食 平成26年 2月～

人権教育の推進



人権集会『人権標語』 平成25年 6月



人権集会『三小しぐさ』 平成26年 7月

外部の専門家との連携強化

スクールカウンセラー (SC)  
高度な臨床心理学／精神医学的  
専門知識を有する心理の専門家

- ◆ Q-Uアンケート 全校児童
- ◆ 心と体の授業 5～6年生
- ◆ 全員面接 4～6年生
- ◆ 校長室で会食 全校児童

- ◆ 個別の対応、指導・助言
- ◆ 保護者対象の講演会
- ◆ 教員対象の研修会
- ◆ 校内研究授業の講師

スクールソーシャルワーカー(SSW)  
社会福祉士や精神保健福祉士な  
どの資格を有する福祉の専門家

特別支援教育コーディネーター  
関係機関との連携、外部との相  
談などを担う専門性の高い教員

校長・副校長 外部人材

## 学校の組織力の向上

主幹・主任教諭 保護者・地域

### 学校いじめ対策委員会 (運営会議)

### いじめ問題連絡協議会 (全体会)

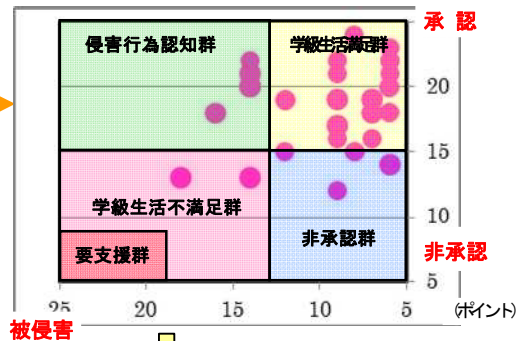


校長と教員の全員面接 平成26年 8月

個と集団を客観的に分析する

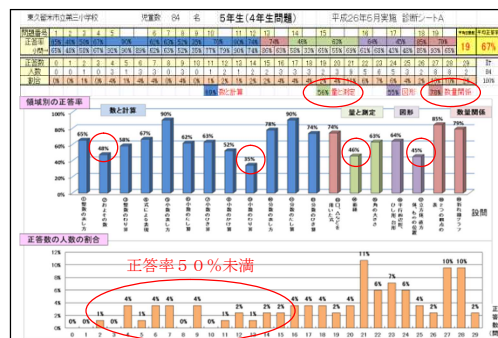
〈 昨年度試行 〉

【居心地の良いクラスを作るための調査】



〈 今年度から新規 〉

【東京ベーシック・ドリル診断シート】



学力向上と学級集団づくり



放課後塾『三小寺子屋』 平成26年～



保護者・地域と連携した『地区班活動』

## 子供は未来の守護者



# かけはし

平成26年5月30日  
東久留米市立第三小学校  
校長 稲垣 達也

学校ホームページ  
http://members.jcom.  
home.ne.jp/dai3-e/

教育目標 ○よく考える子 ○なかよくする子 ○元気のよい子



## 何のために生まれて何をして生きるのか

昨年94歳で逝去された やなせたかし氏 の言葉です。やなせ氏の詩には、美しく優しい言葉の中に、明確なメッセージが込められています。一人ひとりの命の輝きを大切に、互いの良さを認め合い尊重し合ってほしい、そんな強い願いを感じます。個の存在を尊重し、相互の信頼と協力でみんなが生きる、みんなで生きるという意が込められています。

「アンパンマン」 何のために生まれて何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ！  
「手のひらに太陽を」 ぼくらは みんな生きている ミミスだって オケラだって アメンボだって みんなみんな 生きているんだ 友達なんだ

本校は東久留米市教育委員会研究奨励校として、「特別支援教育の視点から見た学級経営と授業づくり」を主題に、特別支援教育の一層の推進に取り組んでいます。実践の一例を紹介します。

### 〈 昨年度から試行 〉



SC心の授業 平成25年 6月～

スクールカウンセラー (SC)  
高度な臨床心理学/精神医学的  
専門知識を有する心理の専門家

- ◆ Q-Uアンケート 全校児童
- ◆ 心と体の授業 5～6年生
- ◆ 全員面接 4～6年生
- ◆ 校長室で会食 全校児童



SC全員面接 平成25年 7月～

スクールソーシャルワーカー (SSW)  
社会福祉士や精神保健福祉士な  
どの資格を有する福祉の専門家

特別支援教育コーディネーター  
関係機関との連携、外部との相  
談などを担う専門性の高い教員

- ◆ 個別の対応、指導・助言
- ◆ 保護者対象の講演会
- ◆ 教員対象の研修会
- ◆ 校内研究授業の講師



SCと会食 平成26年 2月～



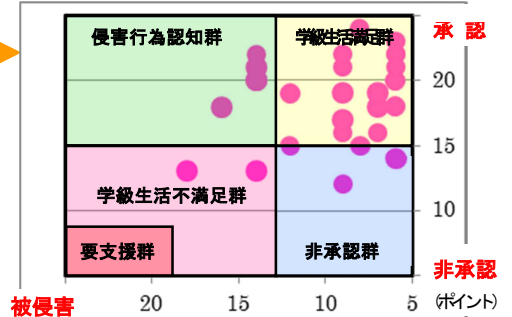
SSW 教員研修 平成26年 4月



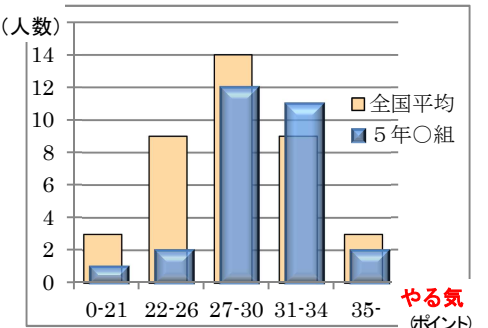
校長の道徳授業 平成25年 7月

### 認め合える学級づくりのために..

#### 【居心地のよいクラスをつくるための調査】



#### 【やる気のあるクラスをつくるための調査】



#### 【学校いじめ防止基本方針】

いじめは、いじめを受けた児童の心に長く深い傷を残します。児童の尊い命が失われることは決してあってはならず、早期発見・早期対応を基本とします。「未然防止」「早期発見」「早期対応」「重大事態への対処」の4つの段階に応じて取り組みます。

詳細は、本校HPをご覧ください。 [こちら](#)



## スクールカウンセラー等の組織的活用について

東久留米市立第三小学校  
校長 稲垣 達也

### スクールカウンセラーの役割

1 児童・生徒に対する相談・助言	① カウンセリング (子供・保護者)
2 保護者や教職員に対する相談 (カウンセリング、コンサルテーション)	② コンサルテーション (教職員・諸関係者)
3 校内会議等への参加	③ アセスメント (見立て、全員面接)
4 教職員や児童・生徒への研修や講話	④ マネージメント (組織参画・連絡調整)
5 相談者への心理的な見立てや対応	
6 ストレスチェックやストレスマネジメント 等への予防的対応	
7 事件・事故等の緊急対応における被害者 児童・生徒の心のケア	

方向性

- ◆ 1 個別から集団へ 集団の診断 ⇒ 理解 ⇒ 援助
- ◆ 2 心理と教育の連関 包括的カウンセリングの重要性
- ◆ 3 子供の能力サポート 学業・生き方 ⇒ 授業の実施

参考：文部科学省「児童生徒の教育相談の充実について」平成21年3月

※ 集団の中での個を見る。キャリア教育の視点を踏まえた心の専門家として必須。

### スクールカウンセリングの内容

アメリカのスクールカウンセリングプログラム国家基準

(包括的スクールガイダンス・カウンセリングプログラム)

① 学業的発達	A：学習に役立つ態度と知識、技能を身に付ける B：好きな道を選べる学力を身に付ける C：学ぶことと働くこと、生活することとの関係を知る
② キャリア的発達	A：自己理解と結びつけたキャリアを調べる B：将来のキャリアの成功と満足への方策を駆使する C：自分の特徴と教育、訓練と労働界の関係を理解する
③ 個人的・社会的発達	A：自他を尊重する態度や知識、対人スキルを身に付ける B：目的実現に必要な目標を立て、必要な行動を起こす C：安全と生存のためのスキルを理解する

出典：C. キャンベル他『スクールカウンセリングスタンダード』図書文化、2000. 6

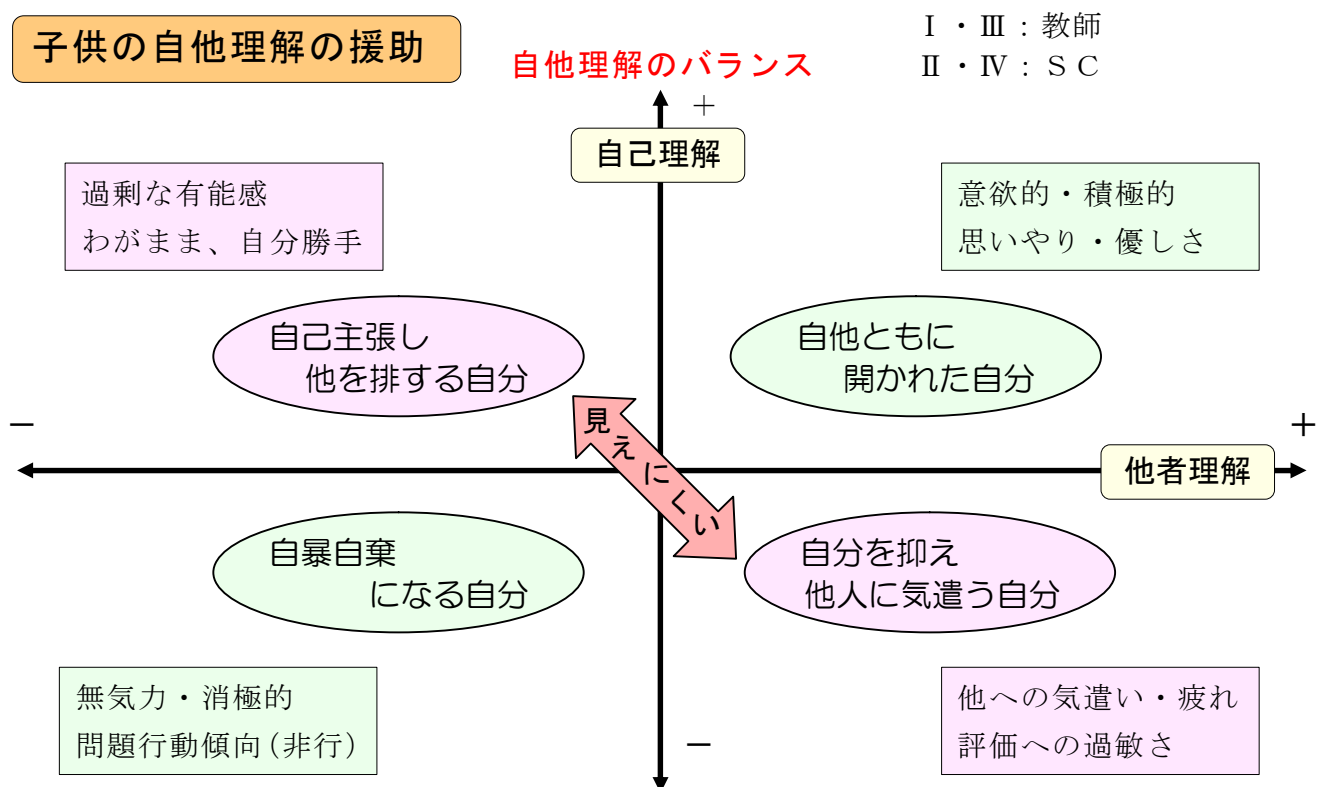
※ その中核的な役割を担う専門職としてのスクールカウンセラー

## 教師とスクールカウンセラーの指導・助言

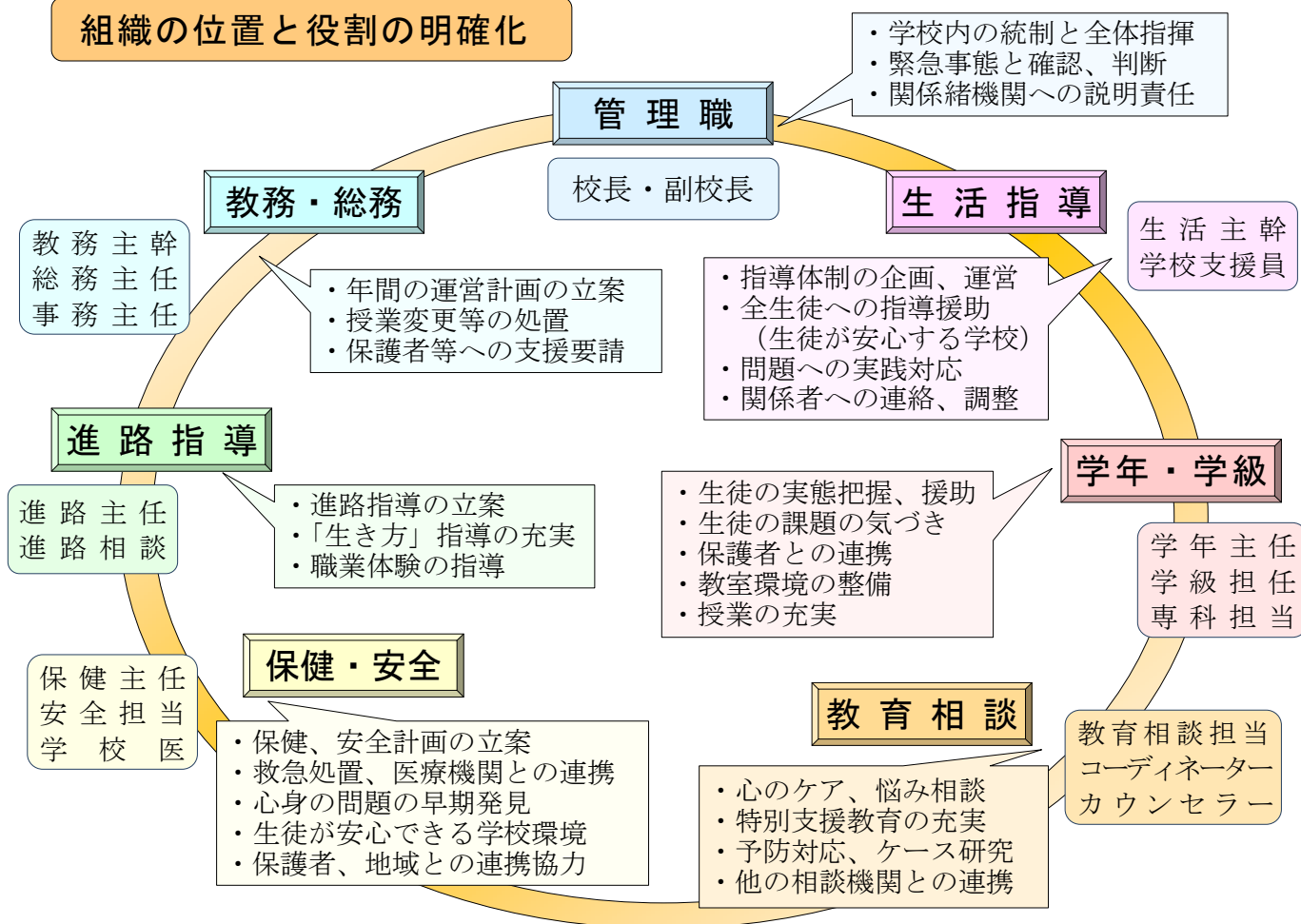
観点	教師	カウンセラー
1 指導性	指導し、評価する	指導や評価の発想がない
2 現実性	現実的 日常生活の具体的な行動や知的・論理的な内容を扱う	非現実的 非日常的な心の中の出来事や情緒的・感情的な内容を扱う
3 かかわりの目標	「あるべき姿」を目指す 義務、規範 すべき、しなければ・・・	「ありたい姿」を目指す 願望、欲求 したい、なりたい
4 評価基準	「できる・できない」 「正しい・正しくない」	(基準はない) その意味や背景を考える
5 かかわり	教えようとする (分からないことや出来ないことの答えや方法を教える)	働きかける (その答えや方法を自分で見つけられるように働きかける)
6 姿勢・態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感情よりも理屈の重視</li> <li>・頑張ることの推奨</li> <li>・早急は変化を求める</li> <li>・話すことが多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理屈よりも感情の重視</li> <li>・リラックスの奨励</li> <li>・本人のペースの尊重 (待つ)</li> <li>・聴くことが多い</li> </ul>

参考：沢崎達夫「教師がカウンセリングの精神に学ぶもの」（『児童心理』2004年12月号・臨増所収）

### 子供の自他理解の援助

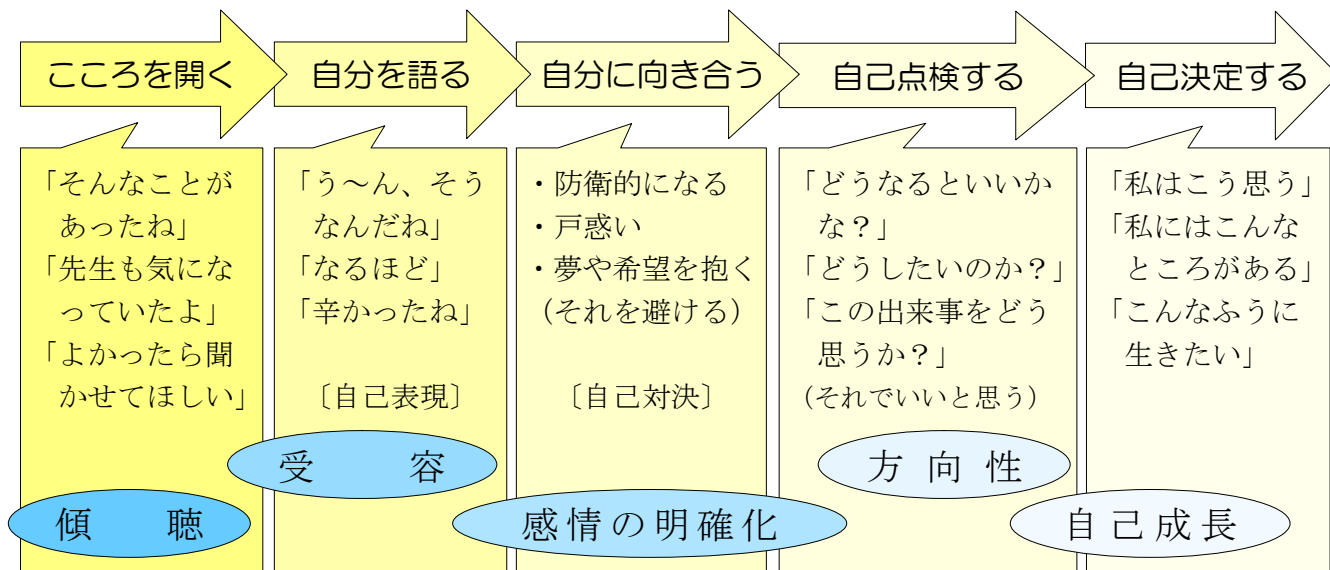


## 組織の位置と役割の明確化



出展：「生徒指導要領」文部科学省 H22.3 p78

## セラピー関係 5つの基本ステップ



## スクールカウンセラー活用の実際①

### スクールカウンセラーによる「心とからだの授業」



平成25年6月26日～

スクールカウンセラーって何？ 教育相談ってどんなこと？ 思春期の心と体の変化について、心理の専門家として、先生とは違う立場で、子供たちに話しかけ、心を開かせていました。

### スクールカウンセラーと「校長室で会食」



平成26年2月19日



3月5日



6月18日

どの学級も最初の班は、大変緊張した雰囲気ではじめられます。「何を話してもいいんだ」が伝わるにつれ、本音トークが広がっていきます。先生を信頼し、学級や学校がとっても楽しいようです。

### スクールカウンセラー等による「教員研修」



平成25年6月5日 SC



平成26年5月12日 SSW



6月5日 SCと情報共有

東久留米市教育委員会の研究奨励を受け、「特別支援教育の視点から見た学級経営と授業づくり」に取り組む中、心理や福祉の専門職による講話や助言は、私たちの血となり肉となっています。

## スクールカウンセラー活用の実際②

スクールカウンセラーによる「全員面接」 平成26年5月21日～



### 事前アンケート 「Q-U」 + 「SCからの質問」

いごちのよいクラスにするためのアンケート

1 あなたは運動や遊び、集まりや委員会活動、しゅなどやクラスの人からみとめられる(すこいと思われ)ことがありますか。 4-③-2-1

2 あなたが失敗したとき、クラスの人があはましてくれことがありますか。 4-③-2-1

3 クラスの中に、あなたの気持ちをわかってくれる人がいると思えますか。 ④-3-2-1

4 あなたが居かしようとするとき、クラスの人たちは協力してくれますか、あえんしてくれたりと思えますか。 ④-3-2-1

5 あなたのクラスには、いろいろな活動に参り参もうとする人が、たくさんいると思えますか。 ④-3-2-1

6 あなたが自分の思ったことや考えたことを実践したとき、クラスの人たちははやくあたりしない、しっかり聞いてくれると思えますか。 ④-3-2-1

7 あなたはクラスの人にいやなことを言われたり、からかわれたりして、つらい思いをすることがありますか。 4-3-2-①

8 あなたはクラスの人にぼう力をふるわれるなどして、つらい思いをすることがありますか。 4-3-2-①

9 あなたはクラスの人にばかにされるなどして、クラスにいたくないと思うことがありますか。 4-3-2-①

10 あなたは休み時間などに、ひとりぼっちでいることがありますか。 4-3-2-①

11 あなたはクラスでグループをつくるときなどに、すぐにグループに入れないで、最後の方まで残ってしまうことがありますか。 4-3-②-1

12 あなたはクラスの人たちから、ムシされていようことがありますか。 4-3-2-①

これで終わりです。記入もれがないかどうか、もう一度見直してみてください。

© SEAWARABA

学校生活と心のアンケート

学校生活の満足度についてのアンケートです。  
5年 組 名前

質問に対して自分の気持ちに一番近い数字に○をつけてください。

1. とてもよく眠れる。  
4 とてもそう思う ③ 少し思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない

2. おなかや喉が痛くなることもある。  
4 とてもそう思う ③ 少し思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない

3. いやなことも、どうにかなるような気がする。  
4 とてもそう思う ③ 少し思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない

4. 学校は楽しい。  
④ とてもそう思う 3 少し思う 2 あまりそう思わない 1 まったく思わない

書きたいことをなんでも自由に書いてください。

詳しい結果を知りたい人はスクールカウンセラーに直接聞いてください。お疲れ様でした。

### 全員面接を終えて (SCより 保護者向け文章 抜粋 平成26年7月)

思春期の入口にあたる5年生は、自分自身を見つめる力が出てくる段階にいます。「他者と共にいる自分」の意味を問始める時期です。そして、その分だけ悩みも深くなる頃です。

今回の5年生全員面接は、一対一でお話することにより、どの子も心を開いてくれて、とても貴重な時間となりました。スクールカウンセラーである私はもちろん、子供たちにとっても、「話しができた」「話を聞いてくれた」というかけがえのない時間を過ごしました。

普段からおとなしい子が学校生活の楽しさを夢中になって話したり、いつもは笑顔の子が実は友達関係や学習のことで悩んでいることを話してくれたり、クラスのこと、家庭のこと、先生のこと、子供たちの思いをたくさん受け止めることができました。

共通して感じたことは、友達関係の中でも、学習活動の中でも、『自分の価値を見出したい』という欲求がとても大きいことです。どの子も、自分を認めてもらいたい、評価してほしい、分かってほしいのです。この面接は、自分の良さを再発見するきっかけとともに、一人一人の児童が困ったときに、悩みが抱えきれなくなったときに、誰かに相談しやすくなるきっかけ作りにもなったと思います。

この先の6年生、進学、社会人となる将来のためにも、自分を肯定して、むずかしい課題にぶつかっても、勇気を持って直面できる力を蓄えてほしいと願っています。

## 「Q-U」結果の解釈と活用について

東久留米市立第三小学校  
校長 稲垣 達也

(2004年7月財団法人応用教育研究所発行 応研レポートNO.70 より)

## 1 調査法による児童理解の必要性

教師の意図した関わりとその児童の受け止め方、教師から見た児童の実態と彼らの内面には、必ずギャップがある。それを忘れると、「私はAという内容の育成を目指して、児童を指導したつもりだ」ということが、「Aという指導を児童は受けた」と飛躍して認識してしまう。「**普通の生徒が突然暴れた**」というのも、**教師には普通に見えただけなのかもしれない**。このギャップに教育実践上の盲点が生じる。児童が変わってきて従来のように教育実践が展開できない、最近の児童は何を考えているのか分からないと嘆くのは、このギャップが大きいからである。

## ●実践するために理解したいこと

教師が教育実践に調査法から得た資料を活用するためには、①児童の個々の特性・心情面 ②学級集団の実態 ③教師の指導をどう捉えているかの三点の把握が必要である。そして、**①と②はつねに統合して理解していくことが大事である**。つまり、個人、学級集団、個人と学級集団の関係の三つの側面からの理解である。「一対一で話すと素直なのに、集団の中になると反抗的なよね」という教師の嘆きは、①と②を統合して、特定の場面における児童の行動や態度を理解しようとしなない教師の力不足に他ならない。

## 2 実践に活用できる尺度とは

本調査は、把握したい三つの視点の①と②が同時に理解でき、かつ実践に活用しやすい尺度を用いている。「たのしい学校生活を送るためのアンケートQ-U」である。

本尺度は、「いごちのよいクラスにするためのアンケート」と「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」の二つからなる。二つの尺度は、児童個々の理解だけではなく、指定された図表の中に学級の児童一人ひとりをプロットすることにより、学級集団の全体像を把握できる。つまり、**個人、学級集団、学級集団と個人の関係、の三つの側面の理解が同時にできる**。

## 3 「いごちのよいクラスにするためのアンケート」の内容と活用方法

学級集団が児童にとっていごちのよい居場所になれば、学級集団への適応感が高まるだけでなく、諸々の活動に主体的に取り組む意欲につながる。児童が所属する学級集団をいごちがよいと感じるのは、**(1)トラブルやいじめなどの不安がなくリラックスできている。(2)自分が級友から受け入れられ、考え方や感情が大切にされていると感じられる**。という二つが満たされたときである。

この二つの視点(被侵害得点、承認得点)を座標軸にして、児童を四つのタイプに分けて理解するのである。

- ① 被侵害得点が低く、承認得点が高い児童は、学級内に自分の居場所をもち、学級生活や諸々の活動を意欲的に送っていると考えられる【**学校生活満足群**】。
- ② 被侵害得点と承認得点が共に低い児童は、不安となる出来事もない代わりに学級内で認められることもなく、学級生活や諸々の活動に意欲が見られない。教師にとっても注目することが少ない児童であろう【**非承認群**】。

→ この群の児童には、彼らが級友から認められるような場面設定の工夫や、教師は君を見守っているよというメッセージとして言葉かけを意識して多くする必要がある。この群の児童は学習の定着が低い場合が多く、学習面からの対応も考えなくてはならない。

③ 被侵害得点と承認得点が共に高い児童は、学級生活や諸々の活動に意欲的に取り組むが、そのプロセスでトラブルが生じてしまうことが多い【侵害行為認知群】。いじめを受けている場合も考えられるが、本人にも自己中心的な面がある場合が多い。

→ 単にその出来事の白黒をつけて指導するのではなく、どういう理由でトラブルになったのか、そのときのお互いの感情はどうだったのかとい点を、時間をとって考えさせることが必要である。他人の気持ちを考える視点や社会性を育成するのである。

④ 被侵害得点が高く、承認得点が低い児童は、耐えがたいいじめ被害や悪ふざけを受けている可能性が高い。また、本人が非常に不安 傾向が強い場合も考えられる。どちらにしても学級集団への適応感は低く、不登校に至る可能性が高い【学級生活不満足群】。

→ この群の児童には個別の面接が早急に必要であり、具体的な対応を計画的に行っていくことが求められる。

#### 4 「やる気のある学級を作るためのアンケート」の内容と活用方法

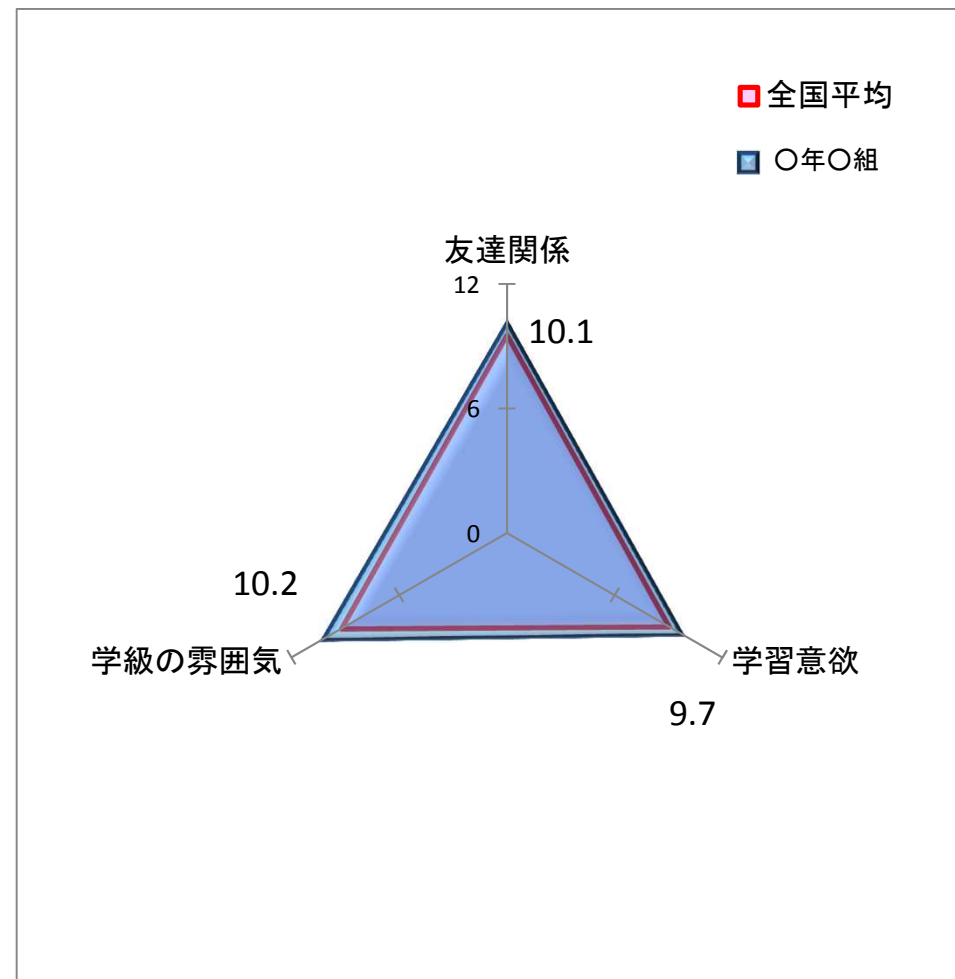
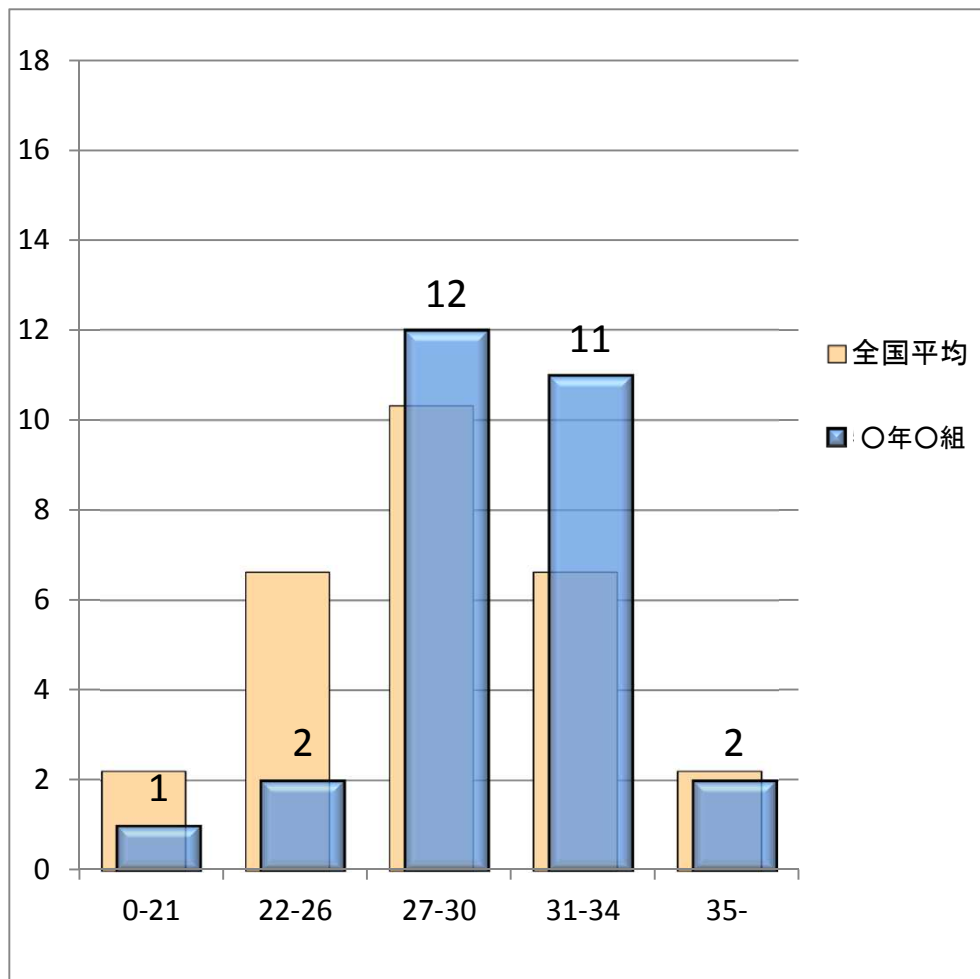
本尺度は児童の学校生活（学級生活）における意欲や充実感（スクール・モラル）を測定するものである。測定する領域は、小学生用は「友人との関係」「学習意欲」「学級との関係」の三つの領域である。各領域の児童の得点を指定された図表に記入すると、**児童個々の学校生活意欲の高さと、領域による偏りを理解できる**。個人内評価が可能なので、教師は児童個々について、配慮や意識的な関わりが必要となる領域を把握できる。さらに、学級の児童全体の各領域の得点や総合得点を整理すると、その学級全体の状態が把握できる。授業や諸活動を展開する上で、提示の方法や学習形態など工夫すべきことが示唆される。

**「やる気のあるクラスをつくるためのアンケート」の各領域の得点と、「いごちのよいクラスにするためのアンケート」の承認得点と被侵害得点とは、相関が高い**。したがって、併用して活用することにより、児童個々や学級集団の理解がより深まり、教師の具体的な対策が見えてくる。たとえば、B組全体の承認得点が高いのは、学級内の友達との関係がよいからである。仲のよい友達がいらない生徒たちは、疎外感をより感じるだろう。したがって、学級内の友達関係が固定せず拡大するような対応が、必要である、という具合である。

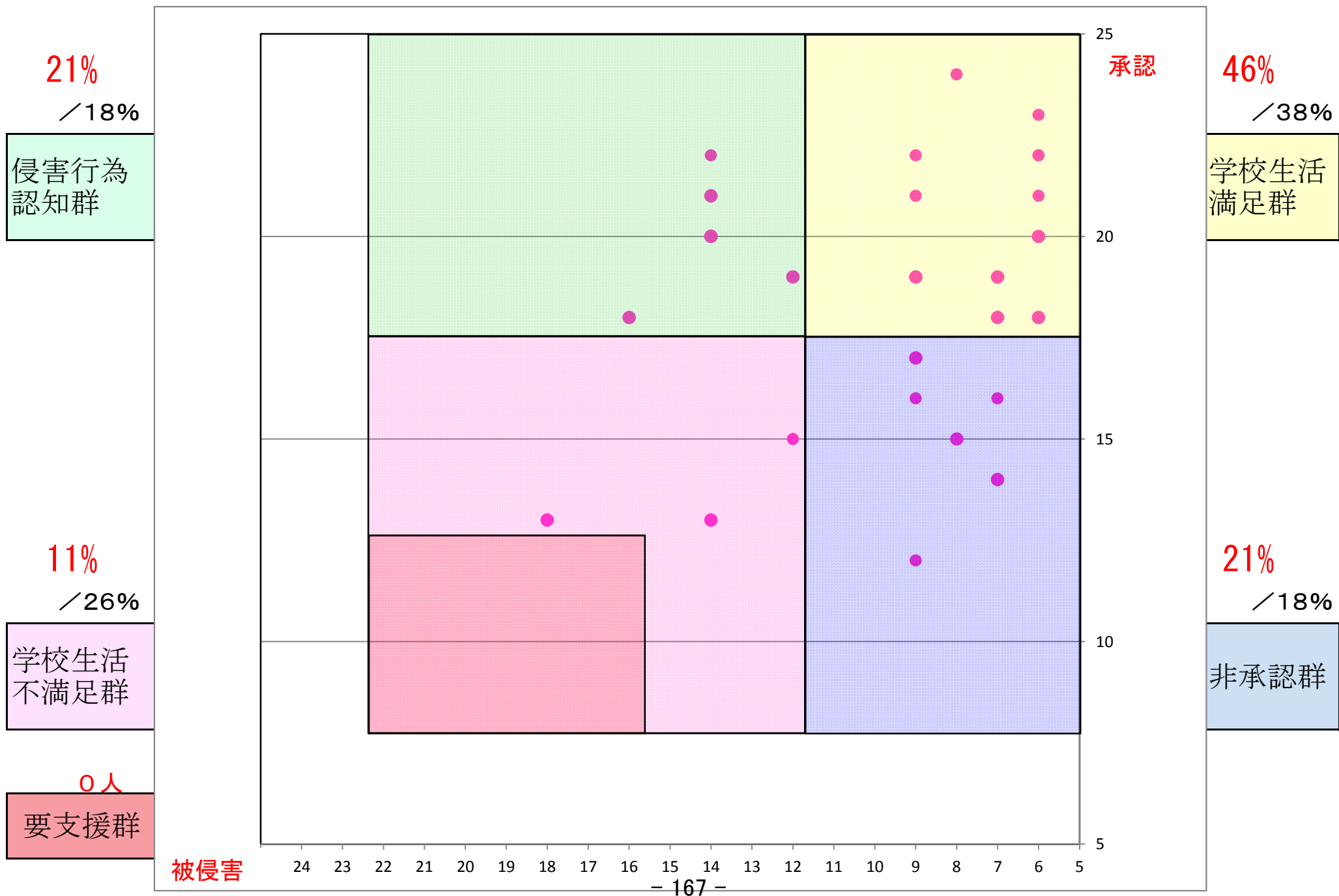
この二つの尺度の結果は、知能のように変動が少ないものではなく、児童が学校生活を送っていく中で変化していく。したがって教師は、定期的実施することにより、タイムリーな対応ができる。さらに、児童個人の変容や学級集団が全体としてどのような方向に形成されていくのかが推測できるので、個人や学級集団に計画的に対応できる。そして、学級集団への関わりを通して、児童個々に対応する方法も示唆されるのである。

おわりに

自分の教育実践を勘や経験則のみに頼っている教師は、問題が生じた場合、自分や児童を必要以上に責めてしまう。とくに、自分は力の無い教師なのではないかと、自分を否定的に考えてしまう。**調査法の活用は、教師に自分の教育実践を分析的に見るという態度を形成する**。したがって、問題が生じた場合でも、修正すべきポイントに対応すればよいと考え、自分を否定するような極端な思考には陥らない。問題を客観的にとらえて、建設的に対応できるのである。つまり、教師が自分の心の健康を保つ方法としても、調査法の活用は有効なのである。







平成26年6月30日  
東久留米市立第三小学校  
校長 稲垣 達也

学校ホームページ  
<http://members.jcom.home.ne.jp/dai3-e/>

教育目標 ○よく考える子 ○なかよくする子 ○元気のよい子

# 三小寺小屋 はじめました



「泳げないカワウソなんて聞いたことがないよ」と笑われて、しょげていると、お姉ちゃんが言いました。「ちょっとずつ、やってみたら？ ちょっとずつやっていけば、いまはできないことだって、きっとできるようになるわ」と…。

絵本『ぼく、およげないの』（徳間書店）の最後に、またお姉ちゃんが言いました。「ね、**ちょっとずつ できることをふやしていけば、うんと むずかしいことでも できるようになるのよ!**」

学習も同じです。「分からないこと、できないこと」をそのままにせず、つまずきに応じた学習や前学年までの内容に立ち戻る学習を繰り返すことで「分かった、できた」が一つずつ増えていきます。それが、『三小寺子屋』（放課後の個別指導）の理念です。この2ヶ月間、その「分かった、できた」喜びを子供自身が実感し、さらに周りのお友達からも認められ、小さな自信が生まれてきています。その**小さな自信は、次の「やる気」、次の「分かった、できた」につながっていきます。**

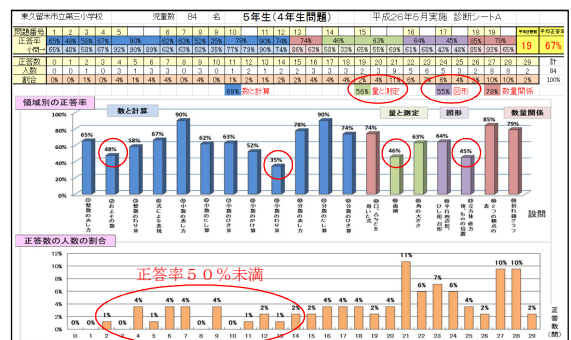
## 【ステップ1】 東京ベーシック・ドリル診断シート

5月、東京都共通の問題にチャレンジしました。

A1	4年 算数	___年 ___組 ___番 氏名 _____
1	次の数を読みましょう。 252803618570	8 計算をしましょう。 0. 25 × 68
2	四捨五入して、( ) の中の位までの のがいにしましょう。 932468 (千の位)	9 計算をしましょう。わり算は、わり かれるようにしましょう。 10. 1 ÷ 25
3	計算をしましょう。商を整数で求 め、わりきれないときはあまりも だしましょう。 808 ÷ 260	10 帯分数は仮分数に、仮分数は帯分 数になおしましょう。 ① $2\frac{2}{3}$ ② $\frac{25}{6}$
4	計算をしましょう。 60 - (12 + 2 × 4)	11 計算をしましょう。 $\frac{3}{2} + 1\frac{2}{6}$

## 【ステップ2】 学力の分析

東京都の採点プログラムに本校独自の工夫を加え、学力傾向を詳細に分析しました。



## 【ステップ3】 みんな満点プロジェクト

学力の分析に基づき、全体の傾向と個人の課題の両面から、具体的な方策を立てました。

平成26年度 みんな満点プロジェクト 第5学年 東久留米市立第三小学校

東京ベーシック・ドリル 診断シートA 全体の傾向

領域別の課題  
 『数量関係』では約80%の児童が正答しており概ね良好といえる。  
 『数と計算』は約70%の正答率であるが、単元毎にばらつきがあり、課題が見える。  
 『量と測定』と『図形』では約55%しか正答できず、大きな課題と受け止めている。

単元別の課題  
 小数と分数の概念・表記、分数の加減、表やグラフは、80~90%の正答で概ね良好である。  
 小数の加減乗除、概数、面積、立体が、5.0%以下の正答率で、全体的に課題のある単元である。

個人の課題分析  
 児童一人一人の課題  
 正答率が5.0%未満の児童は、次のいずれかの傾向がある。  
 段階を積み重ねて計算処理することが難しい。  
 念頭操作など、抽象的な思考をすることが難しい。  
 かけ算九九の習得が不十分で、学習の積み重ねが難しい。  
 家庭学習の習慣が身に付いてなく、学習の定着を図ることが難しい。

習熟度別指導の充実  
 前学年までの学習内容につまずきがある児童については、つまずきの箇所から立ち戻り、反復学習等による補充的な指導を取り入れる。  
 コースに合った課題や教材を活用することで、児童が意欲的に学習できるようにさせるとともに、確実に知識・理解及び技能を身に付けさせる。

具体的な方策  
 (三小寺子屋) 東京ベーシック・ドリルを中心に個別指導  
 学期中 日時:水曜日 6校時 指導者:学力向上指導員  
 対象:診断シートA及び学力調査の結果、つまずきがあると判断される児童数  
 夏休み 日時:7月25日・30日、8月21日に各60分  
 指導者:担任3人・学力向上指導員・実習生  
 対象児童:1学期子屋で成果が十分に上がらなかった児童  
 (使用教材等) ベーシックドリル 三小寺子屋:練習シートを用いて、抽出児童の反復練習  
 ドリルコンテンツ 単元末の復習、前学年までの学習内容の復習

## 【ステップ4】 三小寺子屋

理解が不十分だった単元を復習しています。正答率の低い単元から重点的に取り組み、2学期終了時までの習得をめざします。

毎週	水曜日	木曜日	金曜日
5校時	1年	—	—
6校時	3・5・6年	2年	4年

各学年とも外部講師等が指導に当たります。

児童の感想 「できなかった問題ができるようになって楽しかった」「分かってうれしかった」

Q & A 保護者「うちの子も指導してほしい」、児童「私も残りたい」→回答「対象児童は、単元毎に学校が声掛けします。ご理解願います。」

東京ベーシック・ドリル 診断シートA 全体の傾向

領域別の課題

- 『数量関係』では約80%の児童が正答しており概ね良好といえる。
- ▽ 『数と計算』は約70%の正答率であるが、単元毎にばらつきがあり、課題がみえる。
- ▽ 『量と測定』と『図形』では約55%しか正答できず、大きな課題と受け止めている。

単元別の課題

- 小数と分数の概念・表記、分数の加減、表やグラフは、80~90%の正答で概ね良好である。
- ▽ 小数の加減乗除、概数、面積、立体が、50%以下の正答率で、全体的に課題のある単元である。

個人の課題分析

児童一人一人の課題

正答率が50%未満の児童は、次のいずれかの傾向がある。

- ▽ 段階を積み重ねて計算処理をすることが難しい。
- ▽ 念頭操作など、抽象的な思考をすることが難しい。
- ▽ かけ算九九の習得が不十分で、学習の積み重ねが難しい。
- ▽ 家庭学習の習慣が身に付いてなく、学習の定着を図ることが難しい。

習熟度別指導の充実

- 前学年までの学習内容につまずきがある児童については、つまずきの箇所に立ち戻り、反復学習等による補充的な指導を取り入れる。
- コースに応じた課題や教材を活用することで、児童が意欲的に学習できるようにさせるとともに、確実に知識・理解及び技能を身につけさせる。

具体的な方策

〔三小寺子屋〕 東京ベーシック・ドリルを中心に個別指導

学期中 日 時：水曜日 6校時

指導者：学力向上指導員

対 象：診断テストA及び学力調査の結果  
つまずきがあると判断される児童数名

夏休み 日 時：7月25日,30日, 8月21日に各60分間

指導者：担任3人・学力向上指導員・実習生

対 象：寺子屋で成果が十分に上がらなかった児童

〔使用教材等〕

ベーシックドリル

三小寺子屋：練習シートを用いて、抽出児童の反復練習

ドリルコンテンツ

単元末の復習、前学年までの学習内容の復習〔三小寺子屋〕

診断シートの活用 4月 診断シートA

9月 診断シートA

11月 診断シートB

問題番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	平均正答数	平均正答率										
正答率	65%	48%	58%	67%	90%	62%	63%	52%	35%	78%	90%	74%	74%	46%	63%	64%	45%	85%	79%	19	67%										
小問→	65%	48%	58%	67%	92%	90%	89%	62%	63%	52%	35%	77%	79%	90%	74%	86%	63%	58%	33%	65%	55%	69%	61%	68%	43%	48%	85%	93%	65%		

正答数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	計
人数	0	0	1	0	3	1	3	3	0	3	0	1	2	1	2	2	3	3	3	2	3	9	5	6	5	3	2	8	8	2	84
割合	0%	0%	1%	0%	4%	1%	4%	4%	0%	4%	0%	1%	2%	1%	2%	2%	4%	4%	4%	2%	4%	11%	6%	7%	6%	4%	2%	10%	10%	2%	100%

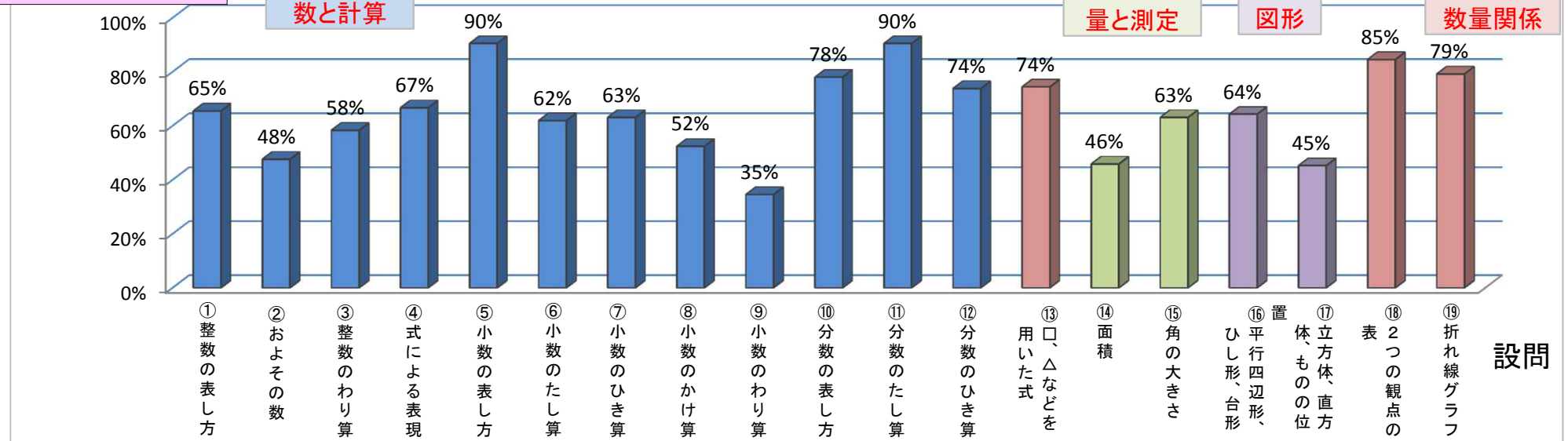
69% 数と計算

56% 量と測定

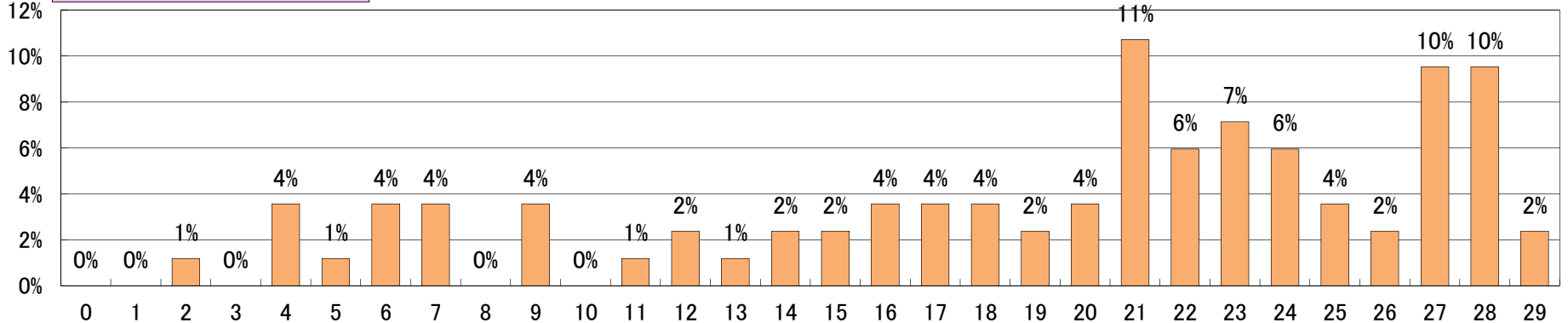
55% 図形

78% 数量関係

領域別の正答率



正答数の人数の割合



◆ 「STOP! 体罰」DVDを視聴して書きましょう。 氏名【 】

Q 1 これらの体罰の何が問題だったと思いますか?

Q 2 あなたが、この先生だったら、このような体罰を行わないために、どのように対応しますか?

Q 3 これらの不適切な行為の何が問題だったと思いますか?

Q 4 あなたが、この先生だったら、このような不適切な行為を行わないために、どのように対応しますか?

◆ 自分の日頃の指導を振り返って書きましょう。

【Point 1】 あなたは、学年・学級、部活動等の指導において、どのような児童に対して指導がうまくいかないと感じることがありますか?		※ 該当する児童の氏名を記入
教員との関係	先生に対する態度が悪いと感じる児童はいますか。	
	何度言っても、先生の指示に従わない児童はいますか。	
	日頃、注意することが多い、叱責することが多い児童はいますか。	
学習指導上の不満	意欲ややる気が感じられない児童はいますか。	
	繰り返し指導しているにもかかわらず、求める水準の知識・技能に達していない児童はいますか。	
	繰り返し指導しているにもかかわらず、忘れ物が多い、提出物がそろわない児童はいますか。	

生活指導上の課題	他の児童の迷惑になることをする児童はいますか。	
	繰り返し注意しているにもかかわらず、学校のきまりを守れない児童はいますか。	
	いじめや問題行動につながる行動がみられる児童はいますか。	
その他	保護者の理解・協力が得られない児童はいますか。	
【Point 2】あなたは、児童の指導において、どのような困った経験がありますか？ また、その場合に、どのように対応していますか？		
感情コントロールについて	どんな時にカッとなりますか。	
	児童に対して、感情的になったことはありますか。また、その時は、どのように行動していますか。	
	言葉が荒っぽくなることは、ありますか。また、その時は、どのように行動していますか。	
指導方法の改善について	言葉で繰り返し言っても伝わらないことがありますか。また、その時は、どのように対応していますか。	
	「これは、絶対許してはいけない」「ここで、毅然とした指導をしなければいけない」と感じたことは、ありますか。その時、どのように対応していますか。	
	児童に馬鹿にされたと感じたことがありますか。また、その時は、どのように行動していますか。	
児童との人間関係について	児童との人間関係ができていますかと思えますか。	
	あなたの指導に対して、保護者から理解が得られている方だと思えますか。	
	自分でないと、この学年（学級、クラブ、児童）は、指導できないと思えますか。	
その他	自分がしっかり職務を果たさなければ、他の教員に迷惑をかけてしまうと思えますか。	
	自分は、校内のリーダーなので、失敗は許されないと思えますか。	
	自分のことは、どんな時も自分でやるべきだと思えますか。	
	自分自身が子供の頃、体罰を受けたりしたことはありますか。	

◆ 本校の体罰根絶のためのスローガンを考えましょう。

東久留米市立第三小学校 体罰ゼロ宣言

氏名【

】